



看護部だより

# ひまわり



2012年 5月  
発行責任者：小牧加代子

Vol. 18

## 希望を支え力を引き出すケアを！ 看護部長 緒方くみ子



新年度が始まり、新しいスタッフを迎え新たな気持ちで取り組んでいただいていることと思います。今年度の診療報酬改定では看護補助体制加算25対1と院内トリアージ加算を取得申請しました。看護師の業務軽減と救急看護の充実につながると期待しています。

また機能評価受審へ向けてスタートを切ったところですが、全職員の意思を一つにし質の高い医療提供を目標に努力していきましょう。先日、呼吸器をつけたまま主治医をはじめ職員が付き添って病院前に咲いた桜のお花見に行かれた患者さんがおられます。数日後亡くなられましたが、人生最後の時間を大切にしたいという主治医・家族・スタッフみんなの想い一つになって、希望を支え力を引き出すケアにつながったのではと思います。呼吸器をつけたままとても素敵な表情で笑っておられました。また、家族のグリーフケアにもなり得ます。時間が必要なのではなく、相手を大切に想い、より添える一人一人の人間力が作りだすものです。今年度もこのような積み重ねがたくさんできるといいですね。

毎日の出合いを大切に、自ら選んだこの仕事を誇りにして成長していきましょう。

看護部スローガン

### 信頼され感動を分かち合える看護

## 教育委員会

平成24年度 教育テーマ 「自ら学び、互いに成長する力を育てる」

今年度の教育テーマも昨年と同じにしました。3月発行の「ひまわり」の編集後記を読んで記憶にある方もいると思いますが、キャリアレベル看護師が全体の約43%を占める今年度ですが、今後も更に増加していくと考えられます。新人から後輩育成までの広範囲におよぶ看護実践における役割モデルとして期待されるところが非常に大きいです。

また、認定看護師教育課程を2名が修了し、ラダー（基礎）研修や専門コースの講師を依頼しています。看護師一人一人が「自分が目指す看護」の目標を見出し、自ら積極的に学ぶ姿勢を持つことで、モチベーションの向上や専門的知識の向上が、看護部全体のレベルアップにつながると考えます。お互いに刺激し合い、成長できる環境づくりを目指します。

## 業務委員会

平成24年度看護業務委員会目標

### 「患者・家族・チーム医療メンバーに見える看護の提供」

平成23年度より継続してこの目標で取り組みます。

看護業務検討部会目標：「受け持ち看護師制の確立」「退院時アンケート接遇苦情の0件を目指す」

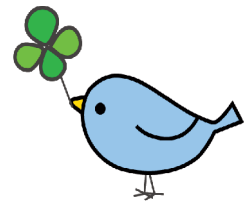
看護基手順検討部会：「看護基準手順の充実を図り、全スタッフへ浸透させることで統一した看護ケアの提供が行える」

看護情報管理部会：「適切な看護記録が行えるよう基準の作成」「参画型看護の実践」

看護スタッフ一人一人が努力し活動することで、看護ケア・看護サービスの改善から看護の質の向上につなげられるよう取り組みます。



# 各部署の目標



## 外来

### 高めよう、チーム力！ ～専門性の発揮～

Aチーム目標は、「専門性の向上を図り、安全・安心な看護を提供する」

Bチーム目標は、「カンファレンスの充実を図り、患者の情報が共有できる」

小集団活動として、①記録 ②マニュアル ③接遇 ④看護計画 ⑤カンファレンス ⑥学習 の6つで活動していく予定です。限られた時間の中で、患者・家族と少しでも“ゆとり”を持って対応したい”と思っています。

### 見直そう！物品管理

## 手術室

手術室における物品管理は手術そのものに直結します。物品管理は患者の命を守る看護につながるという認識を改めて共有しH24年度の目標に挙げ、物品管理、安全管理、感染対策を各小集団の目標に頑張ります。

1ルーム：物品管理を確実にいき手術準備時間の短縮につなげる

2ルーム：事故防止のための安全管理を徹底する

3ルーム：感染対策の知識・技術の向上が得られ、感染の阻止ができる

## 3階東病棟

### 責任と自覚をもった看護の実践

Aチーム目標「専門性を高め安全で信頼される看護が提供できる」

Aチームは術後の患者・終末期の患者が混在しているためさらに小目標を立案しました。

①術後の早期離床をテーマにし離床に必要な知識・技術を深めた看護実践ができる

②終末期における患者・家族の望む看護の提供・参画型看護の実践

Bチーム目標「退院指導を含めた、個別性のある看護が提供できる」

当病棟は昨年度入院1000人越えを達成しました。患者の入退院が多くても退院指導が充実できるよう昨年からパンフレットの見直しなどを行ってきました。それを活用しなお且つ個別性を重視した退院指導を行いたいと目標に掲げました。

小集団は ①救急 ②術前訓練 ③記録 ④5S ⑤ストーマ ⑥カンファレンス の6つでチームの垣根を外した取り組みを実施中です。

### 受け持ち看護師として責任を持ち、患者さんに寄り添える看護を提供します。

## 3階西病棟

今年度泌尿器が撤退し整形外科単科の病棟となってしまいました。そのことにより他科の患者さんを受け入れる機会が多くなるのが予測されます。慣れない科の患者さんを受け入れることはリスクが高く、看護師1人1人の責任と自覚が必要と考えこの目標としました。今年度、初めてチームを超えた混合型小集団に取り組むことも決定し新しい取り組みにスタッフ一同胸を躍らせています。1年間楽しく活動していきたいと思えます。

## 4階東病棟

### その人らしい生き方と家族の思いを支える看護

Aチーム目標「患者・家族の思いを支える看護」～カンファレンスの充実～

Bチーム目標「個別性が見える看護計画の充実」

患者さんの安全を守り、安心して入院生活を送ってもらいたい。この病棟に入院して良かった、この看護師さんに出会えて良かったと感じてもらいたいという思いで小集団活動を取り組んでいきます。そのために1日の看護の振り返りを行い翌日の看護につなげていく「継続看護チーム」、ゆっくり時間をかけて患者の思い、家族の思いを情報交換し看護計画を作成する「終末期看護チーム」患者の急変にもスムーズに対応できるようまず疾患の知識を深め、急変時の物品対応がスムーズにできるように練習する「急変対応チーム」他にも「リスクチーム」「持ち物守りますチーム」「C Pチーム」の6つのチームがそれぞれの得意分野で力を発揮していきます。

### 受け持ち看護師として責任ある行動をとる

## 4階西病棟

H23年度受け持ち看護師制の充実を図り、退院時アンケートでは「受け持ち看護師を知らない」という患者様がゼロになりました。24年度はさらに専門性を高め、患者様・ご家族との信頼関係を深めることを目標に挙げています

Aチーム小集団

【学習】受け持ち看護師として患者の病態をしっかりと把握することで、患者、家族が安心でき、信頼される看護の提供を目指します

【看護計画】患者・家族の声を看護計画に反映させることを目標に取り組みます

Bチーム小集団

患者の状況にあった看護計画の立案・実施ができるように、患者・家族とのコミュニケーションの確立、カンファレンスの充実、ADL状況に応じた援助、快適に過ごせる環境の提供ができるようにチーム全員で取り組みます

## 回復リハ病棟

### チームを集結し、患者・家族の思いを達成させよう！！

急性期治療が一段落しても医学的・心理的サポートが必要な時期の患者さんに対し、多くの医療専門職がチームを組んで集中的なリハビリテーションを実施しながら、心身ともに回復した状態で在宅や社会へ復帰して頂く事が目的の回復リハビリ病棟です。ですから、他職種の連携・協働と、患者・家族の視点に立って精神的サポートも行いながら障害受容や回復過程へのアプローチを行えるよう、システム整備や環境調整等を行っていきます。また、コミュニケーションが重要ですから、患者・家族の思いを確認する際、他専門職の考え・思いを確認・尊重し一丸となって取り組んでいきたいと考えております。

## 院内S-QUE研修1000' Eナース

2/15

### フィジカルアセスメントの実際

私はS-QUE研修「フィジカルアセスメントの実際」のDVDをみました。この講義をみて今まで私はフィジカルアセスメントについて誤解していたことに気づかされました。また、フィジカルアセスメントは異常の早期発見が大事であると思っていましたが、異常でないことを判断することも大事であると学びました。他にも、フィジカルアセスメントのポイントや異常時の判断基準などとても分かりやすかったです。

(下口)

3/7

### 災害看護 ー実際の派遣から学ぶ災害時の看護師の役割ー

この研修では災害時求められる災害看護の資質や役割が学びました。日本では去年東日本大震災、身近な場所では新燃岳の噴火もあり、鹿児島では桜島もあります。実際どのようなことができるのか、私たちに求められるのは何なのか、この研修を見て興味はあるけど・・・から一歩進み身近な看護として考えられると思います(脇園)

3/21

### プロに教わるエンゼルメイク ー気持ちよく送り出すエンゼルケアー

死後には皮膚の乾燥、血色が失われる、腐敗など様々は身体変化が起こります。生前からの元気な姿を知っている家族にとっては、その変化はととてもつらいことだと思います。また、家族は生きているときと同様に患者さんの身体を気遣います。そのため、丁寧なケアや声かけがとても大切です。家族の意向に添ってケアを行うことで、その人らしい看護につながると学びました。(入木田)

## キャリア 成果発表

H23年3月22日、キャリア研修 最終報告会がありました。それぞれ、自分の目標達成のために院外研修への参加など、真剣に活動し成果が表れている人もいました。研修の講評で看護部長のアドバイスにもあったように、「病棟のスタッフにどのように伝えて、後輩育成に活かしていくか」が大事だと感じました。教育テーマ「自ら学び・・・」とあるように、自主的にキャリアアップを目指し、その変化が「目に見える」活動ができるように、教育委員は支援していく必要があると感じました。

自分自身、H23年度は自分のための活動に始終した年だったので、H24年度は自分のキャリアをどう病棟に活かすかを考え、目標を立て活動していきたいです。(中森)

## new face 紹介

今年は、5名の新人看護師が入職しました。ローテーション研修は、1名の既卒看護師を加え6名で行います。また昨年、ローテーション研修の期間をマイナーチェンジして2年目に入りました。プリセプターをはじめ各部署の指導体制も万全を期していると思います。みなさん、よろしく願います。

### 小浦美香

今回、新人として各部署をローテーションする事になりました。技術や知識が不足している部分が多く、先輩Nsのみなさんに迷惑をかけてしまうと思います。このローテーションの間、先輩方のご指導のもと一生懸命頑張り、成長していきたいと思います。また、ダイエットも頑張りたいと思います。たくさんのご指導よろしくお願いします。

### 大脇寛法

今年から看護師としてお世話になります大脇です。年齢は25歳で大隅半島の志布志出身です。趣味はドライブや海や山に行ったりと自然を満喫する事です。まだまだ学ばなければならない事も多くご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、どうかご指導のほどよろしくお願いします。

### 畠中唯衣

4月から新人として働くことになりました。自分が苦手な科目もあり不安もありますが、様々な事を学べるチャンスなので積極的に行動し知識や技術を学んで行きたいと思っています。これから色々ご迷惑をおかけすることもあると思いますがご指導よろしくお願いします。



### 恵畑昭人

現在は3階西病棟で毎日学ばせて頂いています。看護師になり責任の大きさを日々実感しています。まだまだ知識・技術ともに未熟ですが、自分にできる事を確実にこなすようにしていきたいと思っています。趣味はスポーツで、今は市民病院の“フットサルチーム”に参加し楽しんでいます。今後ご指導をよろしくお願いします。

### 吉森綾子

4月から新人として新たに働くことになりました。急性期の病棟は初めてであり、また他部署でのローテーションも分からないことばかりで不安もたくさんありますが、頑張って一つ一つ学んでいき知識を身につけていきたいと思っています。色々ご迷惑をおかけすると思いますが、ご指導よろしくお願いします。

### 神野彩

初めて経験することが多く、緊張や不安も多い毎日ですが、少しずつ新たな学びが増えている日々充実感を感じています。まだまだ知識や技術が未熟で、ご迷惑をおかけすること多いと思いますが、「日々成長」をモットーに、自分のペースで頑張っていきたいと思っています。多くのご指導よろしくお願いします。





みなさんは「127時間」という映画を知っていますか？話はシンプルで岩に右腕を挟まれ身動きがとれなくなった男の「5日と7時間=127時間」を描いた作品です。

何でも自分で出来ると思いこんでいる主人公が岩に挟まれることで次第に衰弱し、その中が見る「過去の出来事」を通して自分の独りよがりな生き方を心の底から悔む姿が流れます。その場面では、人はお互いが支えあって生きている事、一人では生きていけないことを再認識させられます。



最後には目を覆いたくなるシーンもあり見る人によって評価がかなり上下する作品ですがその場面が「生への執着・希望」を描いていると思います。死や絶望を前向きなメッセージへと転じ、「生きる」ということの輝きと、人と人とのつながりの大切さを強く感じさせてくれる映画です。そしてこの映画は実話を基に作られました、それだけメッセージ性が強い作品となっています。マイナーな分類に入る映画ですがアカデミー賞でも6部門にノミネートされ、かなりの高評価を得ています。少しでも多くの方にこの映画の素晴らしさを知ってもらえたらと思います。鑑賞するときは是非、臨場感あふれる字幕をご覧ください！

## 認定看護師教育課程を修了して

### 緩和ケア

3階東病棟 松若元子

私は、兄姉を癌で失い辛く何もできなかった後悔と、患者さんとご家族へも何もできず看護師としても悩み、がん看護、そして看護とは何かを学びたくて研修を受講しました。

研修では、「生命の危機を脅かす病に直面している患者さんとその家族の全人的問題に早期から適切な対応をすることで、QOLの向上を図ることができる」ことを目標に、腫瘍学、疾患に伴う痛み、様々な症状緩和技術、がんと診断され心の苦しみ、スピリチュアルな問題に対し心理過程、患者さんと向き合う姿勢、看護観、死生観とも向き合い、患者さんと出会える看護の素晴らしさも改めて感じる貴重な時間となりました。

ソンドースの「あなたの人生の最期の瞬間までたいせつな人です」という言葉があります。主治医、病棟師長、スタッフを中心に、緩和ケアチームをはじめ多職種の人たちと協働して、患者さん一人ひとりを尊重し、「大切にしてもらえた」と患者さん、ご家族が思っていただけよう最善を尽くしていきたいと思います。

最後になりましたが、御支援をしてくださった院長先生をはじめ、スタッフの皆様へ感謝し、学んだことを実践、相談などを通して少しでも役に立つことができるよう努力していきます。

### 集中ケア

3階東病棟 猿楽大輔

2011年9月～2012年3月までの7か月間、東京の杏林大学医学部附属病院集中ケア認定看護師教育課程の研修を受けました。

集中ケアとは重症かつ集中治療を必要とする患者、ご家族への看護、いわゆる生命現象の危機状態にある人間の反応に対処する看護のことで、集中ケア認定看護師は集中ケアのスペシャリストの事で特化技術としてフィジカルアセスメントや早期リハビリテーションなどがあります。

全国各地から集まった24名のクラスメートと切磋琢磨し学習を深めていく中で自分の長けている事、自分に足りないものを見つめなおす良い機会になりました。おそらく人生で1番勉強した7か月間になると思います。

研修に行くにあたりサポートして頂いた看護部長をはじめとする病院・病棟師長、スタッフの方々に感謝しています。

皆さんのサポートに応えられるように5月に控えている認定審査に合格しクリティカルケアの質向上のために日々精進していこうと思います。



## 編集後記

山口教育担当師長さんへ変わり、4月から後任として教育担当を仰せつかりました“小牧加代子”です。これまで教育委員会の師長として携わって来ましたが、専任の教育担当師長という任命に大きな責任と重圧を感じています。4月早々の新人看護師オリエンテーション・集合研修は、看護部長をはじめ各部署の師長・主任さん方や新人担当のプリセプターさん達のご協力のもと何とか無事にこなせました。ホッと一息もつかの間、現在新人看護師一泊二日の宿泊研修の準備に追われています。毎日、刺激のある日々を送っています。私自身も学ぶ姿勢を持ち、今後教育に関わる研修に積極的に参加し、皆さんと共に成長していきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。